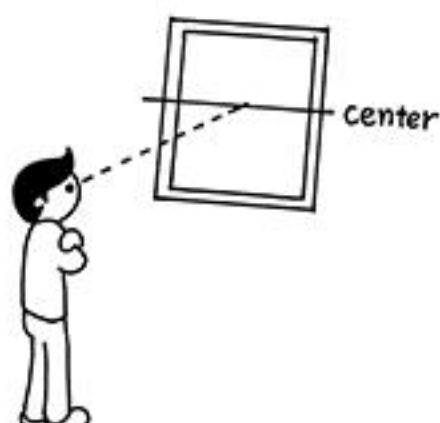


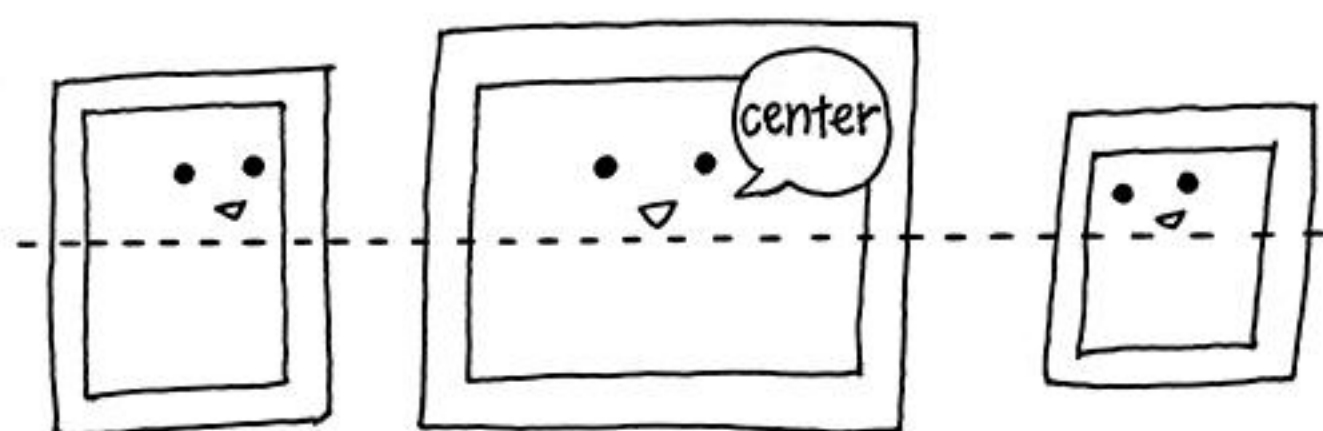
◆ 絵画の飾り方 ◆

◆ 飾る位置

天井から床まで何も置いていない壁に掛ける場合は、立った時の目線の高さが絵の中央付近にくるように飾ると見やすいです。また家具等がある場合でも基本は目線の高さですが、天井に近過ぎず、家具に近過ぎず、バランスを取りながら飾ると見栄えする高さとなります。左右の位置については、絵に対し壁の余白が左右均等になるよう飾ると映えるでしょう。



また、同じ面の壁に複数枚飾る時には、絵の中心が揃うように飾るとすっきりします。



◆ 取付金具

石膏ボード・木壁には市販されている一般的な取付金具を使用します。安全荷重の目安が記載されていますが、石膏ボードの場合は条件により半分以下になります。

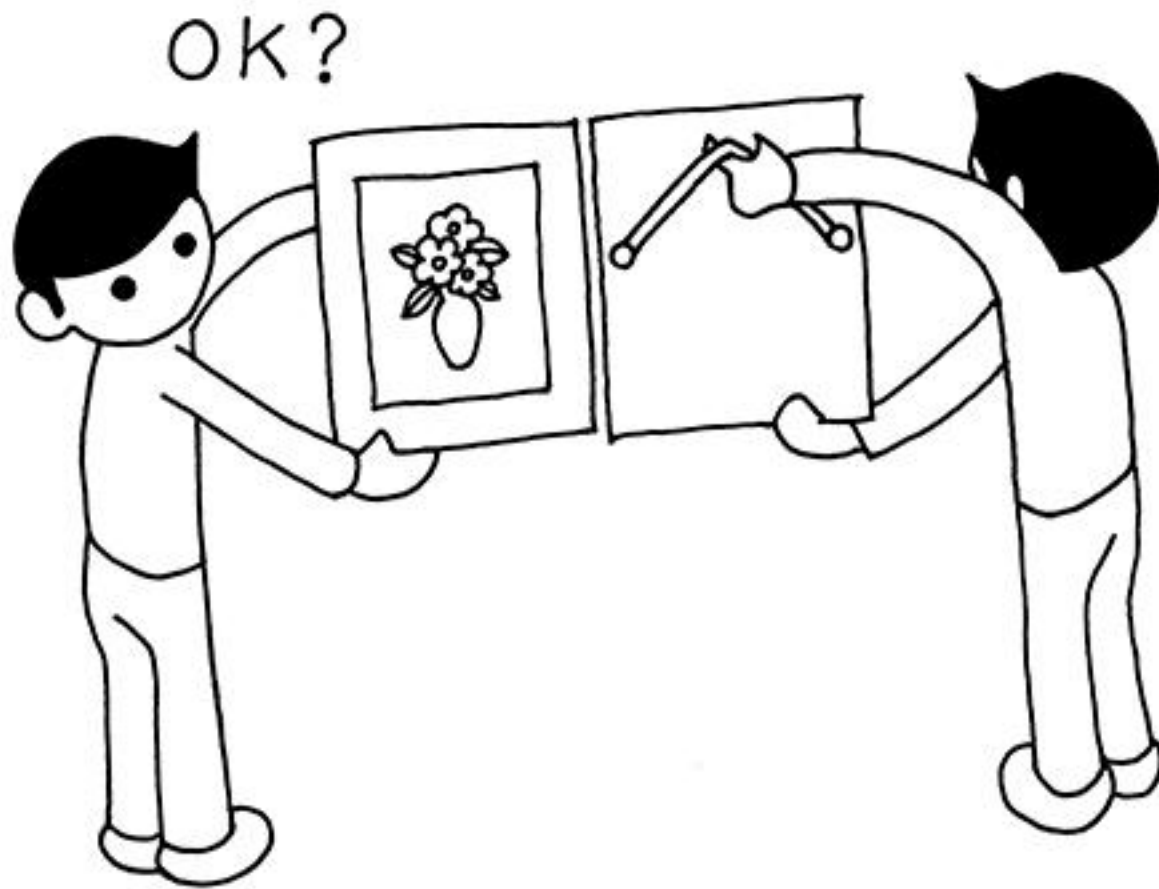


◆ 絵の固定について

額縁の裏側には、壁等に取り付けた金具に掛けるための紐が通してあります。その紐をしっかりと取り付けた金具に引っ掛ける形で絵を固定します。自分で紐を通す場合は結び目が真ん中にならないようにずらしておくとう掛けやすいです。

◆ 設置方法

絵の上部にあたる部分の壁に印を付けて、額裏の紐のたるみ分だけ下げた位置が紐の引っ掛ける箇所になるようにします。



具体的な手順は下記の通りです。

1. 設置する壁に絵を合わせ、位置を決めて額上中央に付箋などでマークします。
2. 額縁裏の紐の中央を上引き、縁の外側までの長さを測ります。



3. 1. でマークした箇所から 2. で測った長さの分を下げた箇所を再度マーク。そこが取付金具の紐が掛かる位置になります。
4. 取付金具に付属されているピンを金槌で打ち込みます。ピン用の穴を通すと斜めに打ち込むこととなります。
5. 額縁裏の紐を壁の取付金具に掛けて終了。



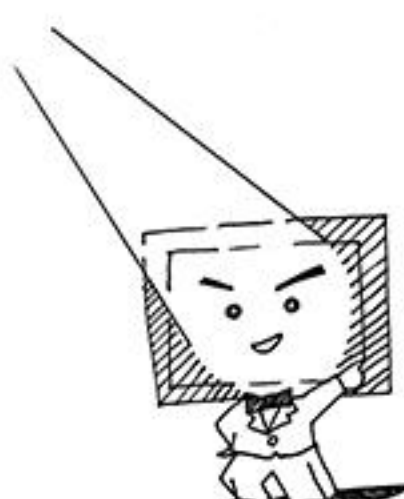
◆ 絵の飾り方あれこれ

小さな絵はサイドボードの上、大きめの絵は床に置くなど、壁以外にもいろいろなところに置くことができます。壁に打ち付けられない・重いので壁に掛けられない・掛けられる場所が無い場合は、イーゼルに絵をたてかけることもできます。イーゼルに絵をかける方がお部屋にあう場合もあります。



◆ 照明のあて方

絵の表面に天井の蛍光灯が反射して見づらくなならないよう、絵や蛍光灯の位置や角度を調整しましょう。また、スポットライトを当てると効果が出ます。絵の中心に最も光が当たるように角度を調整します。



以上が絵画の飾り方です。お役に立てましたでしょうか？

飾り方一つでもお部屋の雰囲気は変わりますし、絵を美しく飾ることで長く楽しんでいただけるのではないかと思います。